

**農業政策における補助金等の事業者への振り込みについて**

Q 今夏の高温被害で、借入金を申し込んだ例を多く聞いた。補助金などを市が立て替えて入金することは可能か。また見解は。

A 肥料価格高騰対策支援金は、趣旨や事務の流れを考慮すると難しい。国や県の制度内容によっては指摘のケースが起り得ることも留意する必要がある。市が補完等をすべきかは検討したい。

**スクールバスについて**

Q 運行規則の変更を可及的速やかに行うべきでは。

A 新たな基準での運用開始は、令和7年4月を予定している。

**藤家貴之議員の質問**



**新型コロナウイルス感染症の後遺症の実態と相談体制について**

Q 医療の提供、実態調査の手法、相談窓口の設置は、どのようになっているか。

A 国、県が中心となって感染症に係る

ペロブスカイト太陽電池とは、ペロブスカイトと呼ばれる結晶構造を持つ化合物を用いた新しいタイプの太陽電池のこと。薄くて軽く、曲げられることが特長。

実態把握や医療提供体制の整備を行っている。市では、後遺症に限らず、広く健康に関する相談窓口を設けている。

Q 後遺症の問い合わせはあったか。

A 令和2年2月から令和5年11月までに5人あった。

Q 後遺症の症状や対策を広報すべきと考えるが、見解を伺う。

A 後遺症に関する相談窓口等の情報をホームページ等で周知していく。

**観光による地域振興について**

Q アウトドアのまち三条を宣言したが、取り組み内容を伺う。

A ターゲット広告や日本有数のアウトドアイベントの誘致等に取り組む。

Q 外国人観光客の受け入れ体制について伺う。

A 十分に進んでいるとは言えない。旅行会社への営業活動等に取り組んでおり、これらの効果も踏まえ、検討していく。

Q 地域住民とのコミュニケーションを今後どのように進めていくのか。

A 地域住民等の意見を伺う機会の創出に努める。

**岡田竜一議員の質問**



**都市計画道路新保裏館線延伸について**

Q 都市計画道路新保裏館線(仮称)北工区の事業進捗について伺う。

A 現在、道路法線や最新の宅地化状況の確認・調査を実施している。来年度は、測量に着手するべく、国道403号バイパス延伸部との道路法線の調整を新潟県と実施する。



**三条市歴史民俗産業資料館別館のリニューアルオープン延期に係る問題について**

Q 市民待望の名誉市民顕彰施設である三条市歴史民俗産業資料館別館の開館延期を引き起こした原因の再発防止策は何か。また、今般の事態を踏まえて市長の所見を伺う。

A 資料館別館の開館が遅れたことについては、開館を楽しみにしていた多くの人々、関係者に対して申し訳なく思っており、お詫びする。今回の事業を受け、受注生産などはこれまで以上に契約後から受注者と連絡を密にしていく。

Q 現状の取り組みだけで観光による地域振興は成立させられるか。

A 現状の取り組みと併せて、県及び県央各自治体と広域観光の取り組みを進めていく。



道の駅漢学の里しただのディスプレイ

**内山信一議員の質問**



**子どもまちづくり基金助成事業について**

Q 高知市には「こうちこどもファンD」という子どもたちが自分たちのまちを良くしたいという思いを実現するための助成事業がある。全国の自治体に先駆けた取り組みであり、三条市も取り組みに向けて研究してはどうか。

**小林誠議員の質問**



**小中学校の給食費を無償に**

Q 妙高市、阿賀町、湯沢町、弥彦村は、小中学校ともに給食費を無償化した。三条市も無償化すべきではないか。

A 食料が高騰し、その分を公費負担している。無償化には約4億2000万円必要であり、無償化は考えていない。



三条市歴史民俗産業資料館別館 良寛様も悲しんでおられます

**来年度の国保税の税率等について**

Q 平成30年から国保の都道府県単

A 子どもたちの主体的な参画によって、これまでになかった柔軟な視点からアイデアを得たり、既存のコミュニティにも良い影響を与えたり、本市の地域活性化にも寄与すると認識しており、支援内容を勘案した中で研究していきたい。

**ペロブスカイト太陽電池について**

Q 2025年には大手企業が製品化するとも聞いている。地場産業のまちである三条市も、次世代技術の開発や参入について研究、支援してはどうか。

A ペロブスカイト太陽電池は、脱炭素社会の実現に向けて、有力なものとして、世界的な市場が見込めると承知している。技術開発が進み、量産化の過程で、当地域の製造技術が優位性を発揮する余地があるのであれば、支援を検討する必要性もあるかもしれないが、現時点でそういう話は聞いていない。

**西村邦明議員の質問**



**がん患者に対する支援について**

Q アピランスケアサポート事業に取り組んではどうか。

A がん患者に対する支援は、2度の引き下げ、4度の据え置きとなっている。来年度はどうか。

A 基金残高を見ながら、適切に検討したい。

Q 国保税は未就学児に対し、均等割の5割軽減が行われている。高校生まで拡大すべきではないか。

A 対象者の拡大は国の判断。小学生から高校生まで引き上げた場合、約850万円が必要である。

**市民の足の確保と東三条駅前駐車場について**

Q 済生会新潟県中央基幹病院開院に伴い、福祉タクシーや自動車燃料費助成の通院規定などの見直しが必要ではないか。

A 透析患者への助成は、距離区分に応じた設定である。済生会新潟県中央基幹病院開院を見据え、新たな距離区分、単価の設定を検討したい。

Q 東三条駅前駐車場の24時間利用を考えるべきではないか。

A 駅前駐車場の24時間化には機器設置に多額の費用が掛かり、現段階では予定していない。